

与野西北八王子学校区学校運営協議会会報

児童が熟議に初参加

～ 「地域によって育まれる『輝くひとみ』の子どもたち」の実現のために ～

2月15日(木)に令和5年度第3回与野西北八王子学校区学校運営協議会が与野西北小学校ホールで開催されました。学校運営協議会が設置されて2年が経ちました。今回が2年目最後の学校運営協議会でした。以前開催していた学校評議員会と学校運営協議会の最大の違いは、学校評議員会は、学校が評議員から学校運営に関して意見をいただくことが会の目的の一つでした。しかし、学校運営協議会は、学校、家庭、地域が子どもを育てる当事者として目指す子ども像の実現のためにそれぞれがどんな取組を行っていくのかを話し合っ、具体的な取組を決め、協働することが会の目的の一つになっています。だからこそ熟議が会の中心になっています。

今回は西北小の児童が学校運営協議会に参加し、初めて熟議にも参加しました。

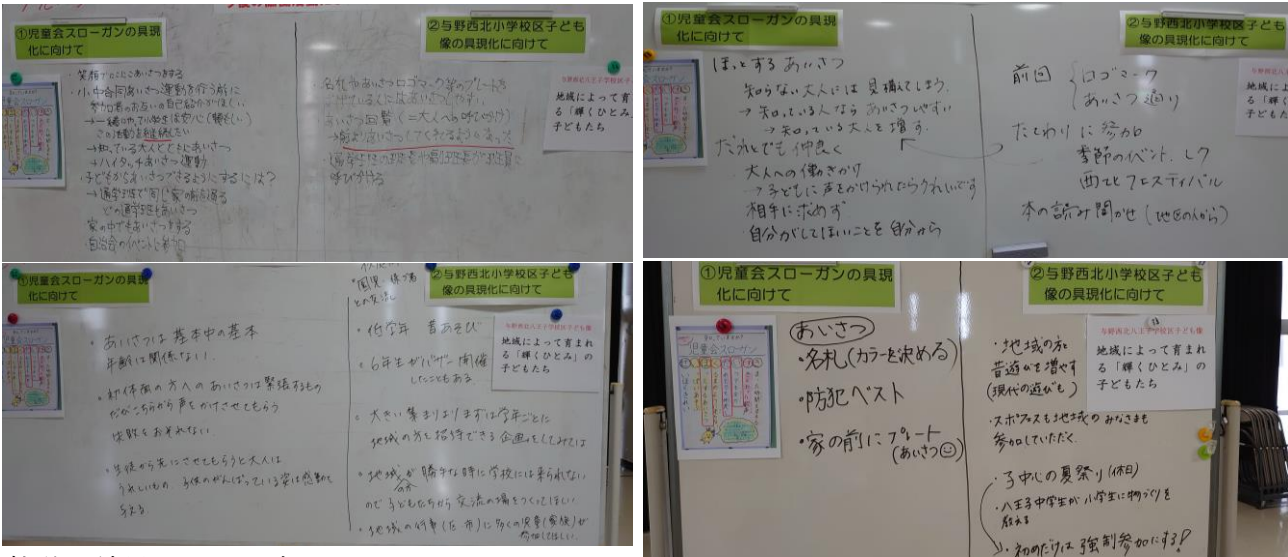
まず、西北小の児童が児童会の以下の取組を発表しました。

- (1) いじめ撲滅の取組
 - ・小・中合同あいさつ運動
 - ・あいさつビンゴ
- (2) たてわり活動
 - ・たてわり遊び
 - ・西北フェスティバル
- (3) スローガンの取組
 - ・ほっとする挨拶大臣 → あいさつ運動 あいさつビンゴ
 - ・だれとでも仲良く大臣 → スタンプラリー (クイズ)

次に、児童会から地域の皆様に以下の提案をしました。

- (1) あいさつ運動に参加してもらいたい。 → 名札を付けてもらいたい。
- (2) 地域の方と交流する場を増やしたい。 → 子どもと交流する場をもっと作る。 → 地域の方たちの協力が必要です。

上の提案を受けて①「児童会スローガンの具現化にむけて」②「子ども像の具現化に向けて」児童を交えて4グループに分かれ熟議が開始されました。豊かな発想の児童発言内容や態度に参加した委員もよい刺激を受けて有意義な熟議になりました。話し合いの記録は以下の写真をご確認ください。



熟議の結果、以下の意見にまとまりました。

- ・ベストの着用、色分けをした名札の着用で地域の方であることが分かるようにする。
- ・自治会で「子どもたちへの声掛け、挨拶をよろしくお願いします。」を呼びかける回覧作成する。
- ・「挨拶通り」や各家庭で「あいさつプレート」の設置を検討。
- ・地域の方々とはふれあいの場を増やす。

(例) 昔遊びや遊びで触れ合う場の設定 スポーツフェスティバルで地域参加の種目の設定
 子ども中心の夏祭りの開催 本の読み聞かせへの参加

意見の具現化には、家庭、地域、学校が当事者意識をもった連携が必須です。家庭・地域の力を子どもたちのためにどうぞよろしくお願いいたします。「地域によって育まれる『輝くひとみ』の子どもたち」を育成していきましょう。今後も熟議を重ねながら、粘り強く共通認識・課題解決をしていきます。

その他、校内見学、学校評価結果の共有、次年度の学校運営に関する基本方針の仮承認、いじめ防止対策委員会の報告が行われました。